

リコール届出番号	外 1066	リコール開始日	平成 15 年 12 月 4 日
不具合の部位（部品名）	制動装置		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ブレーキパイプの固定方法が不適切なため、走行時の振動等により当該パイプとステアリングギアボックス固定ブラケットとが干渉するものがある。そのため、当該パイプの防錆皮膜が剥がれて腐食し、最悪の場合、当該パイプが損傷してブレーキ液が漏れ、制動力が不足するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ブレーキパイプを点検し、損傷のあるものはブレーキパイプを新品と交換し、損傷のないものは防錆処理を行う。 全車両、ブレーキパイプに固定器具を取り付ける。		

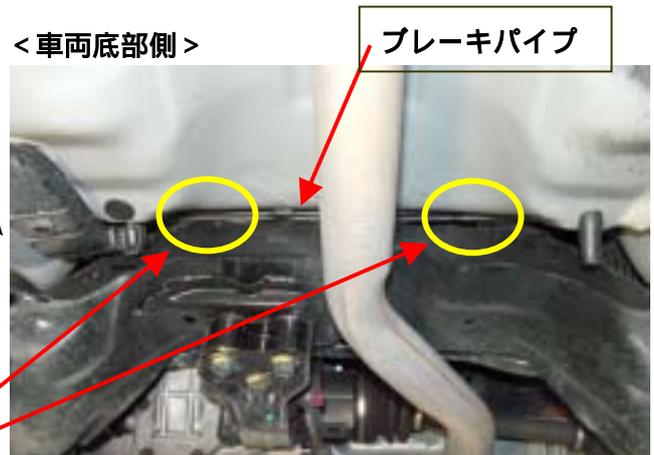
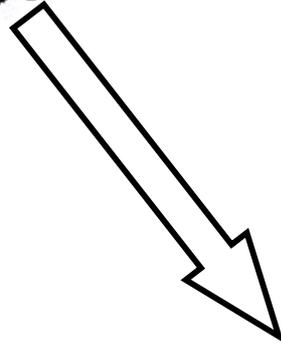
車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヒュンダイ	GF-XD18	エラントラ	KMHND41CR1U074565 ~ 235055 平成12年11月15日~平成13年7月4日	104	
			KMHND41CR2U272688 ~ 432230 平成13年8月22日~平成14年5月13日	96	
			KMHDM41CR1U079799 ~ 234184 平成12年11月9日~平成13年6月30日	102	
			KMHDM41CR2U273553 ~ 431330 平成13年8月24日~平成14年5月15日	169	
			KMHND51CR1U021484 ~ 030590 平成13年3月29日~平成13年7月4日	29	
	GF-XD20	エラントラ	KMHND41DR1U012894 ~ 235550 平成12年6月17日~平成13年7月3日	131	
			KMHND41DR2U392162 ~ 434825 平成14年3月16日~平成14年5月20日	11	
			KMHND51DR1U000169 ~ 030797 平成12年7月26日~平成13年7月2日	34	
	GH-XD18	エラントラ	KMHDM41CR2U444743 ~ 470361 平成14年6月20日~平成14年7月22日	55	
KMHDM41CR3U474866 ~ 567408 平成14年7月26日~平成14年12月7日			37		

GH-XD20	エラントラ	KMHDN41DR2U466435 ~ 473572 平成14年7月15日~平成14年7月28日	10
		KMHDN41DR3U478476 ~ 508068 平成14年8月5日~平成14年9月14日	48
GH-GK27	クーペ	KMHHN61FR2U016231 ~ 054221 平成14年1月29日~平成14年8月16日	235
		KMHHN61FR3U054095 ~ 066943 平成14年7月29日~平成14年10月8日	100
(計5型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成12年7月26日~平成14年12月7日	(計1161台)

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(cc))	備考
ヒュンダイ	GF-XD18	エラントラ	普通・乗用	箱型	G4GB (1,795)	
	GF-XD20	エラントラ	普通・乗用	箱型	G4GC (1,975)	
	GH-XD18	エラントラ	普通・乗用	箱型	G4GB (1,795)	
	GH-XD20	エラントラ	普通・乗用	箱型	G4GC (1,975)	
	GH-GK27	クーペ	普通・乗用	箱型	G6BA (2,656)	

改善箇所説明図

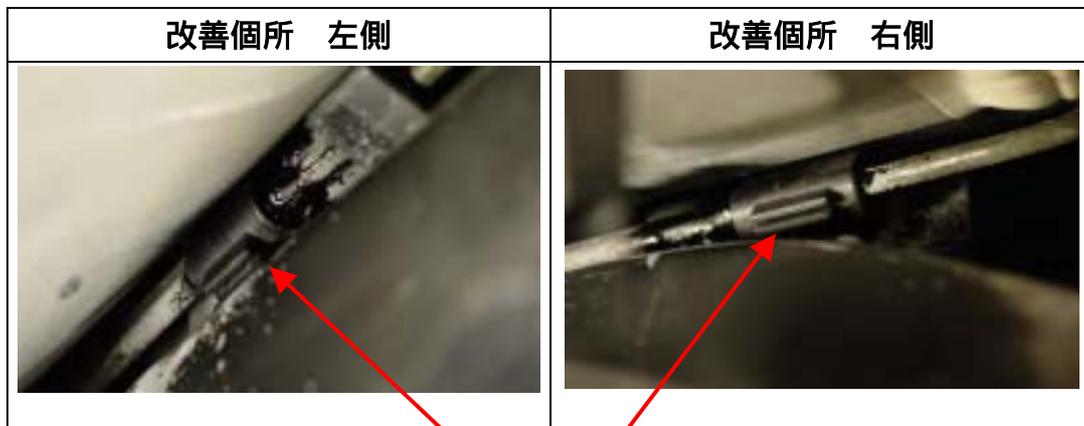


基準不適合発生箇所

ブレーキパイプの固定方法が不適切なため、走行時の振動等により当該パイプとステアリングギアボックス固定ブラケットとが干渉するものがある。そのため、当該パイプの防錆皮膜が剥がれて腐食し、最悪の場合、当該パイプが損傷してブレーキ液が漏れ、制動力が不足するおそれがある。

改善の内容

全車両、ブレーキパイプの点検を行い、パイプに損傷が認められた場合はブレーキパイプを交換する。損傷が認められない場合でも、パイプの固定器具の取付けと防錆処理を行う。



ブレーキパイプ固定器具（追加）